



7 月 号



風薫る山あいには、
校花ささゆりの香りが広がる。
絶滅寸前に追い込まれたささゆりを
守り育てようと、
栽培園へ向かう生徒たち。
「なおく、たくましい」中に
自然を通して「思いやり」を。

昭和58年7月1日

編集/発行

岡崎市教育委員会

(ささゆり栽培園へ — 香山中)



数学を身近なものに

—教育随想—

飛田武幸

四月末のことだから覚えておられる方も多いと思う。それはテレビや新聞で大きく報道された数学教育に関するレポートのことである。

日本の場合、生徒は計算に強いと賞められた反面、応用力・思考力では今一步のこと、教育法も教科に添った抽象的なものに偏らず、生徒をひきつける創意工夫がほしい等の内容であった。新聞には、ドリルはいけません、もっと

と「生きた数学を」という見出しもあつたりして、教育界のみならず、広く一般の関心も寄せられたニュースであった。

これは数学の得意な人にとつても、また、不得意な人にとつても言えることであるが、数学を自分自身以上により良く教えてくれる人はいないと云つてよい。当然のことながら、そこには適切な助言

と与えてくれる良き指導者のいることが望まれる。数学の習得は、ただ黙々と計算練習を積むといった流れ作業で達成できるものではない。

では、ここで、我々は具体的に何を考えたらよいのであろうか。

今思ひ出されるのは、筆者の岡崎中学時代のことである。中村弥一郎先生の数学の授業は、今も強く印象に残っている。それは、幾何の講義であつたが、数学で自ら発見する喜びを教えられたのはこれが初めてであつた。いわば

「知的なチャレンジ」を試みる勉強であつた。定理を習い、それをあてはめる練習ではなく、図形の中にその幾何学的特徴を見つけようとする立場の学習で、いつも生徒の積極的な姿勢が要求された。これこそまさに自らを教えることにつながる立場である。

具体的なアプローチとして、もう一つのことを述べたい。それは日常的な応用の問題に興味をもつことである。テレビでお天気の確率予報が始まつたが、そのきちんとした定義はどうなんだろう。そこで知らされる確率の数値はどれだけのことを物語るのか。サイン・コサインなどの三角関数も、測量の原点に立ち戻つてみれば、先人の英知に感じ入るであろう。これらの考えさせられる例は、いずれも数学をより身近に引き寄せる手段を与え積極性の現れる場を提供している。

これに反して習つた定理を使う練習に励むのは、テレビのドラマを見ているようなもので、結末にいたるまで他人任せである。練習は単なる労働に過ぎず、とても知的活動とはいえない。

先日の新聞紙上で呼びかけに応じて思いつくままに二つの方向を提示した次第であるが、そこでチャレンジとか積極的とかいうことを野球の話で例えてみるのもおもしろかろう。

真に攻撃に徹しようるのは、バッテリーだけではないだろうかと思う。緩急高低の投球で意のままに打者に挑戦できる。ところが、内外野手はもちろん、打者さえ投手に応じた受け身の立場になる。守備も打撃も興味深い、攻めるチャレンジ野球もやり甲斐があるというものだ。

数学でも、相手を身近に引寄せ、自らの意志で積極的にチャレンジしていく勉強のおもしろさも味わいたいものである。

(名大理学部教授)



電話の応対

大門小 吉見和子

「はい、〇〇小学校でございます。」

「校長は学校の用件で席をはずしておりますが、三十分ほどで帰る予定でございます。おそれいりますが……。」

素早く取り上げられた受話器から、歯切れのよいさわやかな声が返つてきました。見えない相手に向かって、とっさにこれだけ気持ちのよい応対のできる人ってどんな人だろう。きつとすばらしい人柄の先生だろうなあと、思わず心がなごんできました。その話し方といい、へりくだる敬語の使い方といい（これが案外使えないものです）声量、速度といい、ほんとうに快く響いてきたのです。

著しい電話の普及により、重要な用件でも、電話で済ませてしまう世の中になつてきました。それだけに電話の応対が、たいせつなものになってきています。

受信した者のマナーとしては、誰から誰にどんな用件でかかってきたのか、月日時刻、受信者名がはっきりわかるメモは欠かせません。また、応対については



ふるさとシリーズ
—この人に聞く—

駒立のぶどう創始者

中根 武雄氏

ことしも七月二十八日から二か月間、山間の地駒立町は、ぶどう狩りの行楽客で賑わう。

ぶどう狩り創始の中心的役割を果たした中根武雄さんを訪ねた。中根さんは、七ヘクタールのぶどう園で、後継者の長男賢さん（三十六歳）とぶどうの手入れと開園の準備に汗を流しておられた。

「ぶどう栽培を始めたのは、昭和二十四年なんです。当時は米と麦が主体で、養蚕を副業としていました。しかし、昭和十九年、わたしが農林省統計調査委員として労賃を調べたところ、六割ぐらいいしか入ってこないことがわかっ

たんです。ここでの適地適作は何かと考えぬいた末に浮かんだのが、ぶどうなんです。

当時、ぶどうなんていうものはなかなか口に入らない高級品でした。そこで、麦畑をぶどう畑に切り替えただんです。土地は砂地で水はけがよく、ぶどう栽培に適していたし、適当な温度較差があって、色を出すのにもよかったです。中根兼松さんと鈴木重幸さんの三人で始めたんです。

観光ぶどう園としてぶどう狩りを始めたのは、ぶどう栽培を手がけてから十一年後の昭和三十五年。

「ぶどう狩りを始めた理由の第一は、駒立に定期バスを通すためだったんですよ。五十戸の農村部落を終点として赤字覚悟でバスが通ると思いますか。そこでぶどう狩りを名目に名鉄と交渉したんです。市側も大変協力してくれました。一年目の目安は二千人でしたが、四千人も来てくれました。」

昨年は六万人の行楽客が訪れた。ここまで成長したのはなぜか。中根さんはマイカー時代やレジャー時代など、世の中の動きが助けてくれたからと説明する。しかし、それだけではないことも確かである。

「十三の観光ぶどう園が共に成長していくには、下のレベルを引き上げていくことです。その努力を怠れると、次からお客さんが来なくなってしまうからね。」

最初の規約づくりは、中根さんの原案をもとに夜を徹して話し合われた。

「シーズン中は一週間に一度、組合員全員で、園の管理状況やぶどうの着色を採点し合っています。点が悪いと、客の割り当て数が減ってくるので、みんな真剣ですよ。」

中根さんは今、子どもたちが一日中楽しめるようなぶどう園づくりをめざしている。

ことしは家康ブーム、昨年以上の行楽客が期待されている。

住 所 岡崎市駒立町宇石神一八
生年月日 大・7・10・5
職 業 マルタ園経営



何よりも真心がこもり、それでいて、にこやかなほほえみが相手に伝わるようにできたなら、すばらしいなあと思います。

電話は会社の窓口

松坂屋岡崎店
総務課研修担当課長

田村 勝

お客様には感謝の気持ちをもって感じよく応対し決して不愉快な思いをさせてはならないというのが私の基本です。電話応対では「正確」で「感じよいこと」が第一です。すぐ身につけるといふことから、訓練はロールプレイ中心で行います。当社では次の五項目を電話応対のポイントとしております。一、姿勢は正しくキビキビと 二、礼儀正しく明るい応対 三、ハキハキとした話し方 四、話は短く簡潔に 五、敬語、わかりにくい言葉に気をつけて

基本事項を修得するために多くの事例を訓練します。一部を紹介しますと、①「ハイ/〇〇売場でございます」と感じよく ② 受話器は左手、メモの用意を忘れずに ③ 「毎度ありがとうございます」といいます」とごあいさつ ④ 用件は5W1Hで正確に聞き取り復唱する ⑤ 長距離・公衆電話は機転をきかす ⑥ 苦情の時はまず「まことに申しわけございません」 ⑦ ⑧ 間違い電話にも親切に応対……このようにして社員としてのマナーを身につけ「会社の代表」という気持ちで電話応対ができることをめざします。

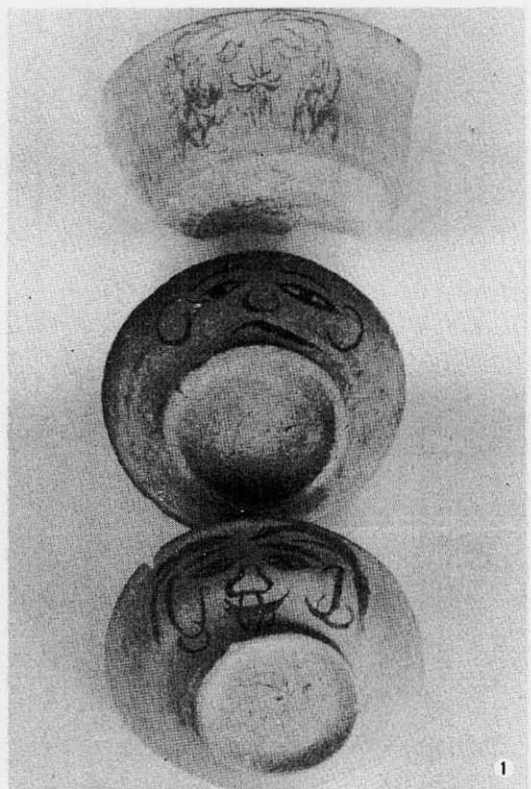
矢作川河床遺跡

43



市域を縦断する矢作川は、岡崎の歴史を語るのに欠くことのできない存在である。昨今の調査により、矢作川自体が大遺跡であることがわかってきた。矢作川が、現在のように一本の大河となったのは、近世以降のことで、それまでは中小河川が何本も走っており、自然堤防と呼ばれる微高地が人々の生活基盤となっていたと考えられている。その後、川の一本化・築堤の過程を経て、現在に至ったようである。岡崎最古の遺跡は、旧石器時代の仁木神社裏遺跡であるが、矢作川の遺物は、それに続く縄文時代中期の土器として出土している。

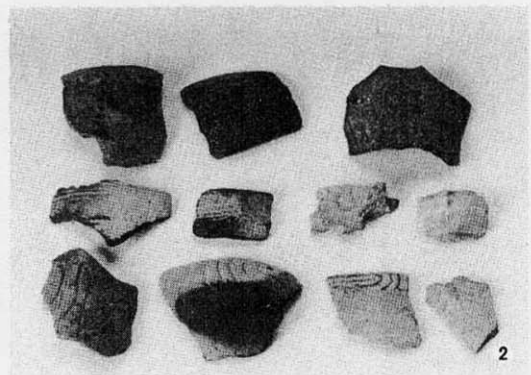
西日本が弥生時代に入っても、岡崎では縄文土器の影響の強い土器が作られ続けていたが、矢作川を中心とする低湿地では、遠賀川式の土器が作られたことが出土品から判明した。弥生時代の後半には、東海地方がほぼ同一の土器を使用するようになり、古墳時代を迎えることとなる。



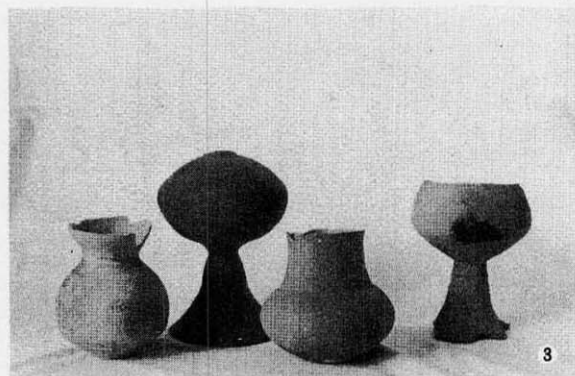
1

古墳時代までの矢作川では、一般的な集落が営まれていたものと考えられるが、歴史時代に入ると、それらに加え、特殊な性格が矢作川に付与される。本来、陶硯・緑釉陶器・墨書土器・瓦類・瓦塔などは、畿内とのつながりを持つ地方役人・僧侶などしか使用できないもの、及び、地方の中心的な役割を担う建物等に用いられたものであるが、これらの出土品により、岡崎の他所には見られない郡衙ないしは、瓦葺きの寺院があったと想定されるのである。人の顔を描いた人面墨書土器は、その中に息を吹き込み、紙で蓋をして川に流し、疫病等を祓流したとする説もあり、矢作川の一画が、聖なる祓所・祭祀場であった可能性は大きい。

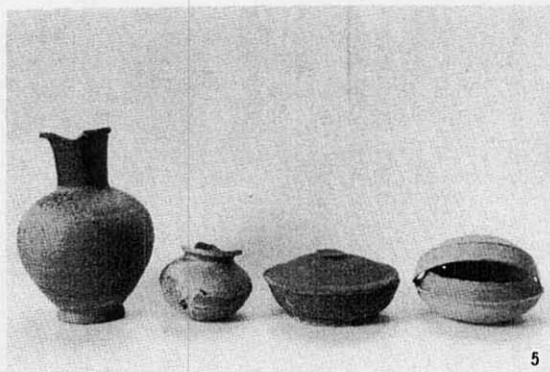
このように、矢作川は原始以来の歴史を内包しつつ現代までその勇姿を見せている。私たちは、私たちの共有財産としての矢作川の文化財を守り続け、後世への橋渡しを果たすべきであろう。



2



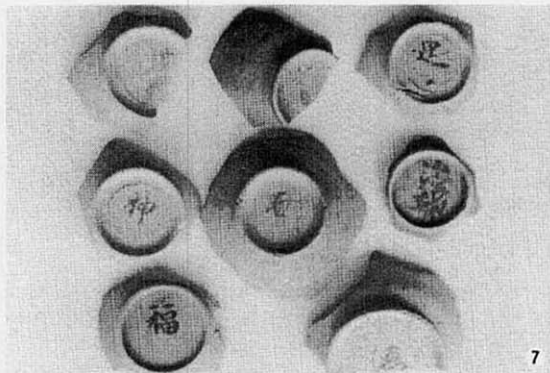
3



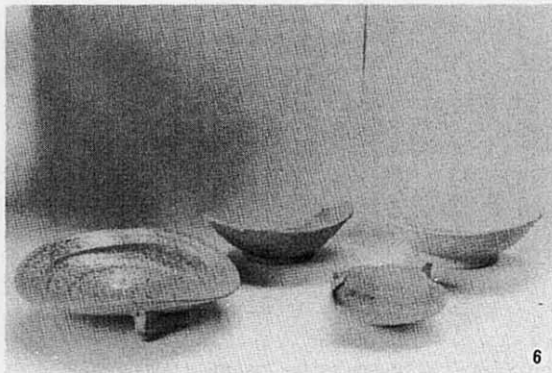
5



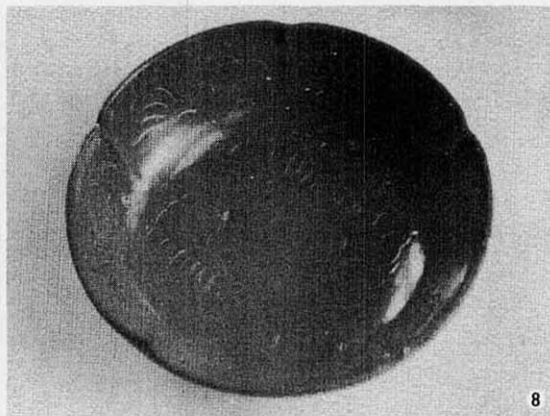
4



7

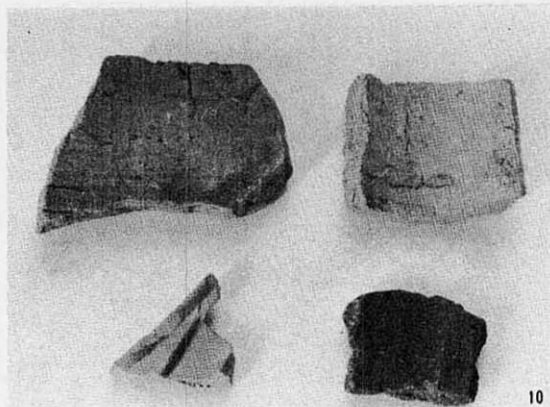


6



8

- ① 人面墨書土器。平城京・長岡京・多賀城周辺等で出土例が多い。
- ② 縄文土器片。
- ③ 弥生土器。
- ④ 古墳時代土師器。
- ⑤ 古墳時代・歴史時代須恵器。
- ⑥ 平安時代灰釉陶器。(三足盤・碗・耳皿) 草木灰の釉薬をかけた陶器。
- ⑦ 墨書土器。
- ⑧ 緑釉陶器。緑青を入れた鉛釉をかけた陶器。寺院・官衙で出土する。
- ⑨ 陶硯・円面硯と呼ばれる陶製の硯で円周の溝を海・中央を陸としたもの。
- ⑩ 瓦塔と瓦類。ミニチュアの塔の屋根部分と瓦。古代の瓦は布目の跡がある。



10



9

名前かき

根石小 清水 弥生

「名前書き屋さん。」

一年生の子供たちのつけてくれたニックネームである。朝、校門の所で生活委員が持ち物の名前調べをやっている。

「書いてない子は清水先生の所へ行くのよ。」

高学年の子供は用意されたマジックペンで自分で書く。

「先生、下手だもん書いてよ。」と甘える子もいる。

「自分の顔だから正しくきちん」と書くのよ。縦書きの時は漢数字、横書きの時は数字で学年を書くんだよ。」と教える。

「本当はお母さんに書いてもらうの。大きくなったら自分でね。忘れても、落としても戻って来るし、最後まで大切に使えるものね。」

物の大切さを理解させたくて始めたこの仕事。少しでも分かってもらえるように(願いを)こめる。

ダンボールに山積みされた、落とし物の処置に困ったの策である。傘や手袋にも、縫いこんで来る子供も増えて来た。赤白帽、安全帽、上靴、傘など、紛

失すると安易に買い与える親の意識の低さも問題だ。学校通信「根石」で家庭に訴えるようにもしているが、道は遠い。その反面、

「帽子がなくなりましたが、ありませんか。」

と届けに来る子供が増えてきたことも嬉しい。若い日先生の教室には曜日よっての記名調べの予定が書かれてあった。彼は、

「清水先生にだけまかせておいてはいけない。」

と言っていたことがある。小さなことかも知れないが、その気持ち忘れないうで続けてほしい。

廊下ですれちがう子、授業に行つて記名のない子をみつけると、時間の許す限り書いてやる

ようにしている。しかし、持ち物はかわるし、洗うと薄くなるし、気をゆるめると、ダンボールの中はいつぱいになる。

「落とした人ありませんか。」

集会で紹介したり、展示場所にならべても、申し出る子はほんのわずかである。

資源の少ない日本。子供のうちから物を大切に作る気持ちを育ててやりたいと、繰り返し、繰り返し毎日でである。

教育日々



何気ない一言

岩津小 長谷川雄一

「先生ノわたし、Mちゃんのこと、児童相談所に行こうと思つとるだよ。だけど先生も困るだろうから、やめとるでねえ。(中略)ともかく、三年生の

終わりに、Mちゃんが本当にいい子に変わってきたら、わたしは、先生に土下座してやるわ。それまで、悪いけど、先生

の言うことは信用できんでね。」

昨年の一学期の個人懇談会でのMの母親の帰り際の捨てぜりふである。

Mは、気性が激しく、授業中、少しでも自分の気に入らないことがあると、大声を出して、さわぎたたり、友だちをいじめたりする。

そこで、私が何度か厳しく叱りつけたため、「先生がおこる。」という理由で、登校拒否気味になってしまったというのであつた。

月日が流れ、約束?の三年生が終わろうとしている卒業式の日、Mの兄が卒業ということと顔を見せていた母親が、卒業生の見送りが終わるや、私の所へ駆け寄つて来て、私の肩に抱き

つくなり、涙顔で、

「先生、私のことを誤解してしまいました。失礼なことを言つてしまつて申し訳ありませんでした。Mちゃんが最近、本当に変わってきたんです。すなおになつてきたんです。ありがと

うございました。」

さらに、母親が言うには、二学期の終わりに、Mのと成りの組のボールがなくなり、Mが疑われたとき、

「Mは、人をいじめたりして悪いこともするけど、人の物を盗んだりするような悪いやつじゃない。」

と言つた私の言葉がMにはとてもうれしかったとのことだつた。

私は、この時ほど、教師の何気ない一言でも、子どもにとつては、重大な影響力を持つということを痛感したことはない。(四年生になったMの班日記)

「ぼくよりアキラの方が、安全委員にさかつたけど、自分が悪いことは悪いから、アキラのことは言わないで、一人でしかられました。」

私は、教師の一言の重さを深く心に刻み、さらに子どもとのふれあいを深めていきたいと願つている昨今である。





第十回 岡崎市民大学

城北中を会場にして開講

岡崎市民大学は第十回を迎えることになった。今年は一ノベル賞を受賞された福井謙一氏をはじめ、多彩な講師をお迎えして開催される。このほど開講日と演題が次のように決定した。

- ◆期日と講師
 - ①7月24日(日) 京都工芸繊維大学長 福井 謙一氏
 - ②8月7日(日) 「科学と創造」 岡本 太郎氏
 - ③8月21日(日) 「芸術・人生」 岡本 太郎氏
 - 分子科学研究所教授 岩村 秀氏
 - ④9月4日(日) 「物の性質は何でできるか」 岡崎市長 中根 鎮夫氏

〔寄贈刊行物・資料等〕
◆自ら求め学ぶ力を育てる学習指導 B5 五二ページ 恵田小

◆教科担任制を加味した実践の報告書 矢作東小

◆岡崎の学校保健 第34号 市教委・学校保健会

B5 七二ページ
◆主体性を高める学習指導 No.10 B5 一一一ページ 美川中

◆精一杯 竜美丘小

◆岡崎の教育 第23集 教職員組合・現職教育委員・校長会 B5 一一〇ページ

賞した。表彰は去る五月二十五日東京で行われた。

■FBC農水大臣賞に細川小

昭和五十八年度のフラーワー・プラボー・コンクール春花壇で細川小は、農林水産大臣賞を受賞した。

■多年勤続表彰の先生方

市内の学校に多年勤続(25年)の教職員として七月一日の市制記念日に表彰を受ける方々は次の通り。

〔小学校〕▽羽根 河合洋人▽岡崎 西村経次▽六名 牧太刀

▽弥▽連尺 神谷道雄、平野安世
▽竜谷 深川隆夫▽藤川 佐野佳三▽木宿 嶋田稔▽生平 鈴木優▽常磐南 成田邦彦

〔中学校〕▽南 細井武彦、犬塚良枝▽葵 中村巖▽常磐 宇佐美昌賢▽岩津 山内満▽矢作 鈴木和夫▽矢作北 磯貝良雄

第27回岡崎市中学校総合体育大会の記録(昭和58年5月8・14・15・21・29日)

種目	性別	成績		
		優勝	第2位	第3位
陸上競技	男	六美中	矢作中	美川中
	女	岩津中	矢作中	甲山中
軟式庭球	男	東海中	福岡中	六美中
	女	美川中	城北中	河合中
卓球	男	六美中	東海中	南中
	女	東海中	東海中	六美中
体操競技	男	美川中	東海中	南中
	女	美川中	六美中	岩津中
バレーボール	男	東海中	六美中	岩津中
	女	常磐中	福岡中	附風中
剣道	男	美川中	城北中	六美中
	女	美川中	六美中	岩津中
ハンドボール	男	美川中	六美中	岩津中
	女	南中	福岡中	附風中
サッカー	男	東海中	美川中	甲山中
	女	岩津中	矢作中	東海中
ソフトボール	男	城北中	矢作中	東海中
	女	城北中	東海中	美川中
バスケットボール	男	東海中	矢作中	六美中
	女	東海中	矢作中	甲山中
水泳競技	男	矢作中	甲山中	福岡中
	女	矢作中	甲山中	福岡中

種目	男子		女子	
	氏名	校名	氏名	校名
器械総合	六美中	美川中	美川中	美川中
器械総合	六美中	美川中	美川中	美川中
団体体操	太田中	美川中	美川中	美川中
個人総合	太田中	美川中	美川中	美川中
床運動	手島中	美川中	美川中	美川中
鉄棒	手島中	美川中	美川中	美川中
跳箱	手島中	美川中	美川中	美川中

◎陸上競技

男子	記録	氏名	校名	女子	記録	氏名	校名
100m	12"2	森田 健之	六美	100m	13"1	佐野 順子	岩津
1年100m	12"8	磯谷 剛	葵	1年100m	13"9	丸本 洋乃	東海
200m	25"3	田中 良徳	葵	200m	28"2	近藤 直美	城北
400m	56"7	和藤 勉	岩津				
800m	2'14"5(新)	藤井 伸治	矢作	800m	2'34"3	杉浦由紀子	福岡
1、2年1500m	4'40"6	寺澤 隆志	南				
3000m	9'47"1	大塚 崇志	美川				
100mH	14"5	柴田 訓	美川	100mH	16"6	永田 直美	城北
800mR	1'41"7	葵 中		400mR	54"6	岩津 中	
低学年400mR	51"9	美川 中		低学年400mR	55"7	葵 中	
走幅跳	6m11	和藤 勉	岩津	走幅跳	4m85	佐野 順子	岩津
走高跳	1m75	高木 祐司	六美	走高跳	1m52(新)	水越 久乃	岩津
砲丸投	11m68	柴田 佳彦	常磐	砲丸投	10m41	野本真瑛美	福岡

◎柔道

学年	氏名	校名	学年	氏名	校名
3年	長坂 暢之	東海中	2年	杉浦 謙治	美川中

◎水泳競技

種目	男子		女子		
	氏名	校名	氏名	校名	
100m自由形	隅田 知弘	東海	1'01"6(新)	清水 美江	甲山中
200m自由形	深津 伸夫	附風	2'17"0	清水 美江	甲山中
100m平泳	山本 敦	東海	1'18"2	鳥山いずみ	福岡
100m背泳	野村 敬之	矢作	1'11"1	藤嶋かおり	矢作
100mバタフライ	鈴木 歩	城北	1'07"2	三尾 早織	附風
200個人メドレー	酒井 康次	葵	2'35"2	浅井寿己礼	甲山中
400mメドレー	東海中	校	4'50"3	甲山中	学校
400mリレー	矢作北	中学校	4'14"6	甲山中	学校

春谷寺廃瓦塔



所在地—岡崎市梅園町

梅園小学校東門前の坂を伝馬に向かつて下つてくると、にぎやかな弁天様ののぼりが目に入る。この付近は三河別院や天満宮をはじめ、市内でも格別に寺社草庵の多い所で、東海道に伝馬の宿が栄えたころの往時がしのばれる地域である。

弁天様から数メートル南、細葉の生け垣の中の柿の葉陰に一基の風変わりな塔が建っている。高さ四メートルほどで、古瓦を円柱状に積み上げた、ちよつと人目をひく廃瓦塔である。

この廃瓦塔のある春谷寺は伊賀の昌光律寺に縁のある庵寺で明治元年創立だそう。廃瓦塔

といえば、北野廃寺の瓦を積み上げて作った故石田茂作博士のものが頭に浮かぶが、この廃瓦塔も、昭和十年に庵の屋根瓦のふき替えをした時、一枚一枚の瓦の裏に戒名や名号が書かれていたので、昌光律寺の住職を通じて石田博士の指導のもとに建立したものだという。小柄で品のよい老庵主さんが、「……小さな破片も一枚残らず塔の下に埋め、満足な瓦を積んで塔を建て、毎日供養をしているのですよ。」と話してくださいました。

なお、この庵の庭には芭蕉の『道のべのむくげは馬に喰われけり』の句碑もある。

この本を

- | | |
|---------------------------------------|-------------------|
| *これからどうなる
—日本・世界・21世紀—
岩波書店 | 岩波書店編集部
1,000円 |
| *往生要集
—シリーズ古典を読む—
岩波書店 | 中村 元
1,800円 |
| *動物たちの愛の詩
月刊ペン社 | 中川 志郎
980円 |
| *ヘソの詩
毎日新聞社 | 無着 成恭
1,200円 |
| *吉岡先生のテレビ寺子屋
—PART I・II—
サンケイ出版 | 吉岡たすく
980円 |
| *三人の天使
講談社 | 高田 好胤
1,000円 |
| *北川民次に学ぶもの
黎明書房 | 滝本 正男
2,300円 |
| *俳句で日本を読む
PHP研究所 | 李 御寧
500円 |
| *教師のための文章入門
小学館 | 上総 英郎
880円 |
| *天の涯に生くるとも
新潮社 | 金 素雲
1,400円 |

大きな体をもて余し、動作の遅いO君

体育の時間は、本当に苦しそうである。

日本人の食生活も欧米並みになり、小中学生の体位の向上はめざましい。しかし、体力、運動能力が伴わず、怪我や病気の何と多いことか。日本食の良さを見なおし、知・体のバランスのとれた青少年を育てたいものである。



七月は海開き山開きの月。夏休みレジャーの夢は大きくひろがる。

とはいえ、実現は誠に心もとない限り。忙しさのやせ我慢ではないが、古来、勤勉ゆえの亡国はない。享楽安逸ゆえの衰退滅亡は多い。働き蜂に栄光あれ。

猛暑何するものぞの意気こそ肝要とみるは、時代錯誤でもなからう。

足下まで垂れ下がったスカートをほき、髪を茶色に染めた突っ張り転校生。

「おい、この学校に来てどうだ。よかつたと思うか。」

「うん、よかった。前の学校と違ってとても平和だもん。」

まじめに答える彼女に、どう対応していくべきか。仲間と再考したい。

過ぎ去った歴史を矢作川河床遺跡に見る。母なる矢作川というべきだろう。有為転変の様に、何とも不思議な思いが湧いてくる。

人面墨書土器に託した古人の祈りを偲び、ふと面をあげれば、矢作川原の夏草はいよいよ繁り、水は悠久のように流れていた。歴史は長く人生短しの感深し。